



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 財団法人日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 小崎繁昭
 編集責任者 蒲池正次、小澤正剛、下田勝二、
 山城元俊、及川雅寛、谷口薫、
 高田秋也
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

平成 20 年度認定試験終了…合格者決定!

認定一般検査技師 43 名、認定心電検査技師 88 名、認定染色体遺伝子検査師 1 名 誕生…

◇ 認定一般検査技師制度 ◇

平成 20 年 12 月 21 日 (日) に大森東急インで実施され、受験者数は 94 名、うち合格者は 43 名で合格率は 46%であった。今回の試験において 200 問中 3 問の不適切問題があり、受験者各位に深くお詫言するとともに今後は不適切な出題のないように努める所存である。

この不適切問題の取り扱いについては受験者全員を正解とした。受験者から試験が難しかったとの声も聞かれ、特に尿、糞便分野の正解率が低かったが、カリキュラム範囲内の問題であり事前に適切な学習により解答を得られたと考える。

午前中の試験は、尿、糞便分野から出題され、平均は 39.6 問正解 (80 問中) であった。午後は、その他の分野から出題され、平均は 35.3 問正解 (60 問中) で、画像問題は平均 40.9 問正解 (60 問中) であった。

◇ 認定心電検査技師制度 ◇

平成 20 年 12 月 14 日 (日) に日本教育会館で実施され、受験者数 119 名、うち合格者数は 88 名で合格率は 74%であった。この試験は第 2 回目の認定試験であり、総論部分 25 問、各論部分 25 問の計 50 問で出題された。総論部分の平均点が各論部分の平均点よりも低い傾向が見られた。総論平均は 16 問正解 (25 問中)、各論平均は 21 問正解 (25 問中) であった。

◇ 認定染色体遺伝子検査師制度 ◇

平成 20 年 12 月 21 日 (日) に、日臨技会館で実施され受験者数 1 名であり、試験の結果は合格となり合格率は 100%となった。

今年度の試験内容は、実技試験 2 問と筆記試験 (40 問) を行った。実技試験 I はパワーポイントにて正常核型の誤配置問題を 2 分投影し解答する問題とした。

実技試験 II は 2 症例についてカリオタイプピングを行い、ISCN2005 に準じ核型を記載する問題とした。

受験者は 1 名ということもあり、緊張している様子ではあったが実技試験、筆記試験共に合格基準を超え各委員会で認定される結果となった。

◇ 今後の課題 ◇

当会の認定制度の合否判定は、試験終了後に日臨技認定制度協議会・審議会合同会議で審議され、中央認定委員会において合格基準等を含め厳正に審査される。今年度の認定試験については、各審議会・委員会で協議された事項は大きく次のような点であった。

まず、<試験問題の難易度>についてである。出題される全ての問題の正答数を分布で表したとき、実際には正規分布にはならない。出題者も解答者も人であり作成者が易しい問題を作ったのか、解答者が学習努力で難問をあつさり解いたのか、また、その逆かの分析は難しい。当然、そこで偏差値を用いることとなるが、認定となると更に難しくなる。そもそも臨床検査技師として国家資格を持ち基本的に臨床検査技師の認められた業務範囲については、全ての臨床検査技師が業として技量は別として可能である。

医師の領域でも同じことが言えるが、今、認定医の価値が議論されている。各学会がそれぞれの視点で認定を付与する場合、時として受ける側に認定マニアを生みだし、その分野における知識はあるものの本来のスペシャリストとしての技量が伴わないと言う問題が浮かび上がっている。このことは臨床検査技師にも当てはまるのではないかと。更に言えば、一枚看板でも十分に有名なのに何枚もの看板を掲げ自己宣伝を媚びしているようにも思えるのではないかと。

これは各委員の自戒の念に基づくもので決して他人事ではない。幅広い臨床検査領域の中で自身が本業として取りたい認定は単にステータスだけでなく知識と技量のバランスが取れた証であり、その裏付けとなるものではないだろうかと言うことが議論された。

もし知識だけで良いのであれば、漢字検定と同様に臨床検査分野別検定でも良いのではないかと意見もあった。このことは単に現時点での認定を否定するものではなく、今後の出題者と受験者双方の見識を問いつつ、国民に対する臨床検査領域の専門家としての利害を除いた第三者機関による保証こそが各種認定に繋がるものと考えられる。

日臨技の認定事業については試験の開催場所や認定に係わる研修会、更新の手続きなど、幾つかの問題があるが、会員諸氏の資質向上と国民医療への臨床検査領域の技術保証を前提に、あり方検討会を立ち上げ、幅広く意見を求めながら進める所存である。

【米坂知昭】

平成 21 年度

＝ 諸会議日程<予定> ＝

- ◇平成 21 年度 第 1 回総会<決算>
平成 21 年 4 月 25 日 (土)
- ◇データ標準化全国代表者会議
平成 21 年 4 月 25 日 (土)
- ◇平成 21 年度 代議員会
平成 22 年 1 月 23 日 (土)
- ◇平成 21 年度精度管理調査総合報告
平成 22 年 3 月 6 日 (土)
- ◇平成 21 年度 第 2 回総会<予算>
平成 22 年 3 月 27 日 (土)
- ◇理事会
 - ・第 1 回 理事会
平成 21 年 4 月 24 日 (金)
 - ・第 2 回 理事会
平成 21 年 6 月 13 日 (土)
 - ・第 3 回 理事会
平成 21 年 7 月 28 日 (火)
 - ・第 4 回 理事会
平成 21 年 9 月 11 日 (金)
 - ・第 5 回 理事会
平成 21 年 11 月 14 日 (土)
 - ・第 6 回 理事会
平成 22 年 1 月 22 日 (金)
 - ・第 7 回 理事会
平成 22 年 3 月 13 日 (土)
- ◇常務理事会
 - ・第 1 回 常務理事会
平成 21 年 5 月 16 日 (土)
 - ・第 2 回 常務理事会
平成 21 年 10 月 17 日 (土)
 - ・第 3 回 常務理事会
平成 21 年 12 月 12 日 (土)
 - ・第 4 回 常務理事会
平成 22 年 2 月 13 日 (土)